

# 図書館だより

## 3月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○印 休館日  
月曜日・祝日(21日)  
月末館内整理日(31日)

## 今月の新刊図書案内

### ♡一般図書

脳が読む 養老猛司  
本が虫 “  
ウィトゲンシュタイン入門 永井均  
日本人とイギリス 今井宏  
徳川吉宗の人間学 津本陽  
白頭山の青春 梅棹忠夫  
人間を幸福にしない日本というシステム 杉村春彦  
カレル・ヴァン・ウォルフレン 落合信彦  
落合信彦 OUR WORLD 落合信彦  
女の遺産相続 北村明美  
国際摩擦と法 石黒一憲  
シュタイナー学校の数学読本 本郷 隆  
ベングト・ウリソン 狭心症・心筋梗塞の方へ 細田 隆一  
胃の手術を受ける方、受けた方へ 羽生 富士夫  
長生き食品早死に食品 中山 栄基  
この病気にこの肉料理 宗像 伸子  
新感覚の予算別住宅実例集 講談社

## お知らせ

図書館でゆったりと本が読めるように模様替えをしてみました。

児童図書の書架も増やし、子どもたちにも広いスペースで本が読めるように考えました。

どうぞ、お越しく下さい。



（『最新俳句歳時記』より）

啓蟄のいとし児ひとりよちよちと 蛇笏

啓蟄とは、二十四気の一つで、陰曆二月の節、雨水の後十五日、すなわち三月六日ごろに当る。このころ土中に冬眠していた蟻、地虫、蛇、蜥蜴、蠶、蛙の類が穴を出てくる意であるが、日本ではもう少し遅れるのが普通である。

インターネット革命 大前研一  
料理の鉄人・完全レシピ集 料理の鉄人制作チーム

玄米・麦・雑穀の料理 小林節子  
中野重治の画帖 中野重治  
手塚治虫のブッダ 講談社  
聖火に恋して 橋本聖子  
鉄塔武蔵野線 銀林みのる  
もう、きみには頼まない 城山三郎  
対決小選挙区 大下英治  
家庭の幸福 杉村 暎子  
時代小説秀作づくし 黒岩重吾ほか  
無印おまじない物語 群 洋子  
八代將軍吉宗 上 ジェームス 三木 フォレスト・ガンパ  
ウインストン・グルーム 他一七四冊

### ♡児童図書

雪にあこがれて南極へ みんなのかお  
ふとこにいだく生命の水・富士の自然  
環境とリサイクル ウルトラ怪獣完全大図鑑  
寒山さん拾得さん パウラちゃんのニッポン日記  
サルが山からおりてきた 落ちてきた星たち  
ずうっとおにいちゃん けんちゃんとしせんせい  
そしてぼくだけが生き残った イソップ寓話集  
マクブルームさんのすてきな畑 ゆかいなふたり  
もしもぼくがいぬのがっこうに いったら  
いのち輝け富士号

他八七冊

## 心の健康シリーズ(23)

### 「子育て」を考える

いつの時代でも、我が子がかわいいし、将来に大きな期待を寄せ、愛情をこめて、子育てに励むわけですが、どうかすると、その親の願いが裏目になることも少なくないようで、最近、その傾向が目立つようになり、幼・保育園、学校でも様々な心の問題や行動をする子どもが目立つように思われます。

昔に比べ現代の親は、教養も高く、子育てについても熱心に学び、家庭教育に真剣に取り組まれていることはいうまでもないのですが、それなのに心の問題や非行をする子が増加してきたのはなぜでしょうか。

その原因は、親たちの子育てへのとらわれ方にあると有識者たちは分析しています。

子どもの生活も社会の変化とともに大きく変わり、子どもの遊びにしても野外から屋内遊びに、集団遊びから個人的遊びにと変わり、集団から学ぶ人間関係は薄れ、自己中心的となり、社会性や人間性の発達の面から憂慮される場所です。

また、手伝いも減少し、調査によると一日平均十分から十五分となっており、0分に等しい人もかなりの数を占めていることがデータに現われています。

大人の子どもの頃に比べて時間的にも質量的にも減少していることが明らかになっています。

子どもに手伝いをさせることは勤労への意欲を高め、仕事の技術、要領を身につけ、創意工夫させることであり、生きる力を養うことです。

家庭での仕事が電化され、機械化された今日といえども、家族が気持ちよく生活していくための仕事量は減らないし、毎日繰り返し返される仕事も数多くありますので、仕事に終わりということはありません。

共稼ぎ家庭が多い今日、家事に係る一切のことが母親の仕事として家族が顧みないとしたら母親は疲れ、イライラして、小言やグチの多い母親となり、楽しい家庭は望めません。

子どもを家族の一員として、いかに家事に参画させるかが大切であり、親が子どもの将来を見通して、家事の手伝いをさせることは子どもの生活によりよい影響を及ぼします。

「かわいい子には旅をさせろ」の言葉どおり、かわいがってばかりでは、人の「いたみ」もわからない子に育ってしまいます。

子どもうちの手伝いは自立心を育て、生きる力を養い、たくましい、心豊かな子どもに成長させていきます。